

## 令和 7 年度 施策評価表

施策	0104	子育てと仕事の両立	施策担当部	こども未来部	部長	杉野 幸夫
			施策担当課	こども支援課	課長	内野 一嗣
施策の方針	多様な保育サービスの提供や放課後児童の居場所づくりなどに努め、子育てと仕事の両立を支援する。					
関連するSDGsのゴール						

### 【DO（実施）】

#### 後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R6年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 教育・保育施設における4月時点の待機児童数	人	75	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	100.0%	100.0%
② 病児保育施設を利用する児童数	人	1,478	1,678 836	1,704 494	1,716 1,038	1,711 848	1,711	49.6%	49.6%
③ 放課後児童クラブを利用する児童数	人	1,823	2,261 1,889	2,285 1,950	2,299 2,009	2,317 1,958	2,317	84.5%	84.5%
④									
⑤									

#### 施策達成状況の説明

・教育・保育施設における4月時点の待機児童数は、施設の定員増加や保育士確保、保育コンシェルジュによるマッチングにより目標達成ができた。

・病児保育施設を利用する児童について、Instagramで各施設のお便りを発信する等の周知活動を行ったが、利用児童数、新規登録者数ともに微減となった。今後は広報誌への掲載等により、更に周知活動の強化を行う。

・放課後児童クラブについては、市域全体での受け皿確保は充足しているが、小学校区別における不足気味の校区への整備が課題となっている。令和6年度は3クラブ新規開設し、不足気味の校区を含めより充実することができた。今後も需要動向等を踏まえ計画的な整備に努める。

#### 施策経費

(単位:千円)		R6年度 決算	R7年度 予算	R8年度 見込	特記事項
内訳	事業費	7,070,409	7,710,806	8,042,916	
	国庫支出金	3,138,696	3,394,124	3,628,716	
	県支出金	1,655,728	1,812,384	1,924,099	
	地方債	2,400	5,000	2,700	
	その他	122,330	121,521	109,074	
	一般財源	2,151,255	2,377,777	2,378,327	
	人件費	136,779	153,624	—	
	フルコスト	7,207,188	7,864,430	—	

#### 施策の概要（細施策）

010401	多様な保育サービスの提供	増加している保育ニーズに対応するため、保育士確保策の実施などにより、保育所（園）や認定こども園などにおける園児の受入体制の強化を図ります。 また、延長保育や障がい児保育、病児・病後児保育など、子育て世帯のニーズを踏まえた多様な保育サービスを実施します。
010402	放課後における児童生徒の居場所づくり	放課後児童の安全・安心な居場所づくりのため、地域のニーズを踏まえ、受入施設の確保と保育の質の向上に努めます。 また、国の放課後子ども総合プランに沿って、放課後児童クラブと放課後子ども教室の交流・連携を推進します。 さらに、OMURA未来塾の開設数を増やし、学習活動により学習習慣の定着を図るとともに、中学生の安全・安心な居場所づくりを推進します。
010403	子育てしやすい家庭と職場の環境づくり	各種講座等を通して、女性の再就職支援や男性の育児参加を推進するとともに、市内事業者等に対し「ながさき結婚・子育て応援宣言」に取り組むよう働きかけることで、子育てしやすい家庭と職場の環境づくりを進めます。

**【CHECK (評価) 施策担当部長】**

**施策を達成する上での問題点・課題**

- ・増加する保育ニーズに対応するため多様な保育士確保対策に取り組んでいる。令和5年度に保育士等就職祝金を拡充などにより、保育士数は増加しており、一定の効果があつたが、年度途中から年度末にかけて待機児童が発生している状況のため待機児童の解消には依然として課題を抱える。
- ・休日保育や病児保育、一時預かり保育など、多様な保育ニーズに注視し、必要な環境の整備が重要である。
- ・放課後児童クラブを利用する児童数は増加傾向にあるが、市域全体としての受け皿は確保されている。夏休み等の長期休業や新年度が必要が高まる時期となり、学校区によっては受け皿の不足感が現れることがある。

**【ACTION (改善・改革)】**

**上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方**

- ・就職祝金により保育士の確保につながっているが、保護者の働き方の多様化等に伴う保育ニーズの更なる増加も考えられることから、今後より一層効果を高めるために保育士等就職祝金を一部見直し、令和8年度以降も継続し、さらに保育士確保を進める。
- ・保育ニーズを的確に把握し、保育サービスの充実に向け継続して取り組んでいく。
- ・受け皿が不足する地域や小学校区の再編による地区ごとの利用ニーズを把握し、必要に応じて新規クラブの施設整備や既存施設の体制強化を行う。

**令和8年度新規事業**

	事業名	担当課	令和8年度見込	対象・事業概要など
			事業費(千円)	
1				
2				
3				
4				
5				